

富山大学双六山岳会 双六診療所
平成27年度事業報告書

1. 実施目的

近年の登山大衆化に伴い、山岳事故の件数も増加しており、山岳遭難救助隊に診療機関の参加要望が強いので、富山大学双六山岳会もこの要望に応えるべく、最も登山者の多い夏山の期間中にボランティア診療を編成し、登山者の安全を図ることを目標とした。

2. 開設場所

岐阜県高山市上宝町双六小屋敷地内の診療棟
(冬期避難小屋を兼ねる)

3. 開設期間

平成27年7月25日(土)～平成27年8月23日(水)

4. 診療班編成内容

1班：医師1～2名 看護師1～2名 学生1～3名として
8班編成。開設期間中交替で診療に当たることを原則とした。

実働人数	医師	13人
	看護師	19人
	薬剤師	1人
	学生	24人(山岳部21名、一般3名)
	看護学生	0人
	その他	2人

平成27年度夏期双六診療所開設による
山岳遭難防止対策事業の実績

総受診者数 90名

疾患別内訳は下記の通り

高山病 15名

外傷(頭部外傷1を含む) 8名

関節障害(捻挫、腱鞘炎含む) 28名

骨折 1名

消化器症状 3名

感冒 14名

虫刺され 9名

皮膚症状(日焼け含む) 5名

靴擦れ 4名

疲労 2名

その他 1名